東海ノア
（東海 NOAH）

第１４号（平成 15 年１２月発行）
東 海 ノ ア 協 定 事 務 局
（日本原子力研究所・東海研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@popsvr.tokai.jaeri.go.jp

東海ノア通信 第 14 号 をお届けします。

東海ノア協定事務局では、協定加盟事業所相互の人とのふれ合い・コミュニケーションを構築する事を目的に、現在まで４事業所のご協力を頂き、見学会を開催し延べ８３名の参加がありました。 今後も協定加盟事業所の協力のもと、活動の推進に向けて取り組んでいきたいと考えております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、適宜、ホームページでも紹介しております。アドレスは、http://tnoah.tokai.jaeri.go.jp/ です。

トピックス

☆活動状況

・第９回安全協力委員会の開催

・第２３回活動推進幹事会の開催

・自主保安に関する点検協力活動

・安全教育に関する協力活動

・情報交換に関する協力活動

☆加盟事業所からの紹介

☆今後の活動予定

東海 NOAH：東海村（東海）、那珂町（N）、大洗町（O）、旭村（A）、ひたちなか市（H）

活動状況

○第９回安全協力委員会の開催（平成 15 年 10 月 20 日）

主な議題（1）平成 15 年度上期活動状況報告と下期の活動予定
（2）「活動推進幹事会」幹事長及び副幹事長の再任について
（3）「安全協力委員会」委員長及び副委員長並びに「緊急事態協力活動本部」本部長及び副本部長の選任等について
（4）その他

○第 23 回活動推進幹事会の開催（平成 15 年 12 月 21 日）

主な議題（1）自主保安に係る点検協力活動報告書（案）について
―レーザー濃縮組合―
(2) 自主保安に係る点検協力活動の実施について
―原研那珂研究所―
(3) 平成１５年度第１回安全教育研修の実施結果について
(4) 平成１５年度第２回安全教育研修の実施計画について
(5) 平成１５年度総合訓練計画（案）について
(6) 東海ノア通信第１３号の発行について
(7) その他

自主保安に関する点検協力活動

（１）平成１５年度第２回自主保安に係る点検協力活動

・実施日時　　平成 15 年 10 月 27 日（月）　９時 30 分～15 時 00 分
・事業所名　　レーザー濃縮技術研究組合　東海濃縮実験所
（所在地：東海村）
・点検協力者　3 名
① 放射線取扱主任者（所属：核燃料サイクル開発機構
大洗工学センター）
② 放射線取扱主任者（所属：東北大学金属材料研究所附属
材料試験炉利用施設）
③防 火 管 理 者　（所属：日本核燃料開発株式会社）
＊　他　事務局 2 名
・項　　目　　1)安全管理の基本方針
2) 施設内及び他社で発生した事故・トラブルの
水平展開状況
3) 緊急時における対応体制、訓練
4) 教育訓練
5) 規定、規則の整備
6) 緊急事態対応策の検討
7) 現場巡視

・点検協力活動の様子

事業所の対応者（手前左側）と意見交換を
行う点検協力実施者（右側）

中央操作室の説明を受ける
点検協力実施者

安全教育に関する協力活動

○安全教育に関する協力活動

・加盟事業所の従業員等を対象とした安全教育研修の実施

① 日　時　平成 15 年 10 月 31 日（金）9 時 15 分～17 時 00 分

② 場　所　原研東海研究所　国際原子力総合技術センター

③ 内　容　・放射性物質のいろいろな性質

・核燃料サイクルと臨界安全の基礎

・放射線防護の基礎

・実習（各種放射線及び空気中の放射能濃度の測定）

④ 受講者　　17 名（5 事業所）

← 講義の様子

放射能測定の
実習風景 →

・加盟事業所で企画主催する講演会･公開講座等への参画

① 衛生講演会「労働者の慢性疲労と睡眠」

核燃料サイクル開発機構
アトムワールド講堂で行われた講演の様子
1 事業所　2 名参加

（平成１５年１０月２日、ＪＮＣ東海主催）

② 講演会「職場におけるメンタルヘルスの進め方」

原研　東海研究所　大講堂での講演の様子
5 事業所　7 名参加

（平成１５年１０月１０日原研　東海主催）

③ 安全講演会「企業倫理・法令遵守の重要性」

ＪＮＣ大洗工学センター
Ｆセルボ 第１会議室で行われた講演の様子
１事業所　１名参加

（平成１５年１０月２２日、ＪＮＣ大洗主催）

④衛生講演会「たばこと健康」

那珂研究所　多目的ホールで行われた講演会の様子
2 事業所　2 名参加

（平成１５年１０月２２日、原研　那珂研究所主催）

⑤ 火災予防講演会「最近の火災事例に学ぶ防火対策について」

核燃料サイクル開発機構
アトムワールド講堂で行われた講演の様子
6 事業所　7 名参加

（平成１５年１１月１３日、ＪＮＣ東海主催）

⑥ 品質保証講演会「日産リバイバルプラン
～日産１８０と進化したＱＣサークル活動～」

核燃料サイクル開発機構
アトムワールド講堂で行われた講演の様子
4 事業所　4 名参加

（平成１５年１１月１８日、ＪＮＣ東海主催）

情報交換に関する協力活動

・加盟事業所で主催する総合防災訓練の視察

①サイクル機構 東海事業所主催（平成１５年９月１１日）

６事業所から１２名参加

事故概要説明を受ける参加者

防火管理棟、医務棟で行われた高被ばく者救助訓練を視察する参加者

②サイクル機構大洗工学センター主催（平成１５年１０月３１日）

３事業所から４名参加

訓練開始前に概要説明を受ける参加者

訓練視察後に行われた事業者と視察者との意見風景

③原研　大洗研究所主催（平成１５年１１月２０日）

５事業所から９名参加

総合訓練事故発生時における対策本部の対応状況を視察する参加者

放射線監視盤の説明を受ける参加者

・加盟事業所相互の見学会

①原研　大洗研究所「高温工学試験研究炉施設」の見学会

７事業所から２４名参加

大洗研究所の概要説明を受ける参加者

高温ガス炉の中央制御室を視察する参加者

（平成１５年１０月２２日、東海ノア主催）

②原電　東海・東海第二発電所「原子力施設」の見学会

６事業所から１６名参加

東海発電所中央制御室での参加者

乾式キャスク貯蔵施設を視察する参加者

（平成１５年１１月　７日、東海ノア主催）

加盟事業所からの紹介

わが社の安全管理

財団法人　核物質管理センター

東海保障措置センター

１．はじめに

財団法人核物質管理センターは、核物質管理に関する業務、研究開発及び国際協力を推進し、原子力産業の健全な発展に貢献することを目的として昭和４７年に設立されました。東海保障措置センター（以下東海センター）は昭和５３年に保障措置分析所の名称で新設され、平成１１年に現在の名称に

変更しております。

東海センターでは、化学分析法又は質量分析法により、保障措置検査で提出された試料等に含まれるウランやプルトニウムの同位体組成、含有率等を分析しています。プルトニウムが含まれる試料の分析においては、閉じ込め機能を有するグローブボックスでの取り扱いにあたり、厳重な管理のもと安全を確保しています。

２．安全への取組み

１）東海センター施設及び施設周辺の安全維持

・ホットセル及びグローブボックスを設置した施設について、２４時間排気連続運転を行い、ホットセル、グローブボックス及び管理区域の負圧を維持

・管理区域内からの排気は、高性能エアフィルタでろ過し、放射性物質の施設周辺への放出を防止

・管理区域内からの排水は、廃液タンクに一時貯留し、バッチ方式によ

り放射性物質濃度を測定、確認し、海へ放流

2）安全活動

安全管理の基本方針及び基本的事項など、安全管理に関して審議検討を行うための安全管理委員会を核物質管理センター本部に設置しています。安全管理の基本方針及び基本的事項に基づき、東海センターとして次のような安全活動を推進しています。

① 関係法令、保安規定等の遵守徹底を図ることにより、職員等の安全意識の高揚を図る。

② 作業マニュアル等を的確に定め、安全関連情報を共有することにより作業の安全確保を図る。

③ 新入職員の採用が増加したことから、教育訓練の充実を図り、外部機関の研修に参加させるなど、有国家資格者の育成を図る。

④ 東海センターの安全衛生パトロール等の活動

・安全衛生委員会のメンバー全員により、毎月、安全衛生パトロールを実施。さらに、夏季及び年末に所長安全パトロールを実施

・安全衛生委員会で安全衛生パトロール指摘事項等の処置状況などを確認

・安全衛生協議会において、請負協力会社を含めた安全衛生について協議

今後の活動予定

・平成１５年度第３回自主保安に係る点検協力活動・・・　１月

・平成１５年度総合訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・　２月

・第２回 安全教育研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２月

・活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３月

・安全協力委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３月

編集後記

東海ノア通信も第１４号を発行する運びとなりました。

東海ノア協定が締結されまもなく４年が経過します、今年度下期においては、更なる活動の活性化に向けて、次年度計画を構築したいと考えていますので、東海ノアに関するご意見、ご要望等について、何でも結構ですので事務局までお寄せ下さい。

(東海ノア協定事務局)